

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。取付後は、お客様にご使用方法を十分ご説明ください。

## 安全のために必ずお守りください

- 取付けの前、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。  
 ●この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、△注意の表示によってお知らせしています。

**△注意** この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

### △注意

- ① 湯水を逆に配管しないでください。  
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。
- ② 凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。  
凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)
- ③ 本製品はTOTOシステムキッチン(レガセス)用スペースアップカウンターに取付けるシングルレバー混合栓です。  
また、取付けの際はこの施工説明書と共にシステムキッチン用スペースアップカウンターの施工説明書をよくお読みの上、取付けてください。

## 取付け前に

より簡単に施工していただくために本商品はワンタッチソケット(逆止弁付)を採用しております。

1. ワンタッチソケット(一般用:逆止弁付、寒冷地用:逆止弁なし)  
混合栓の給水・給湯ホースとソケットの脱着がワンタッチで可能です。

**取付け方**

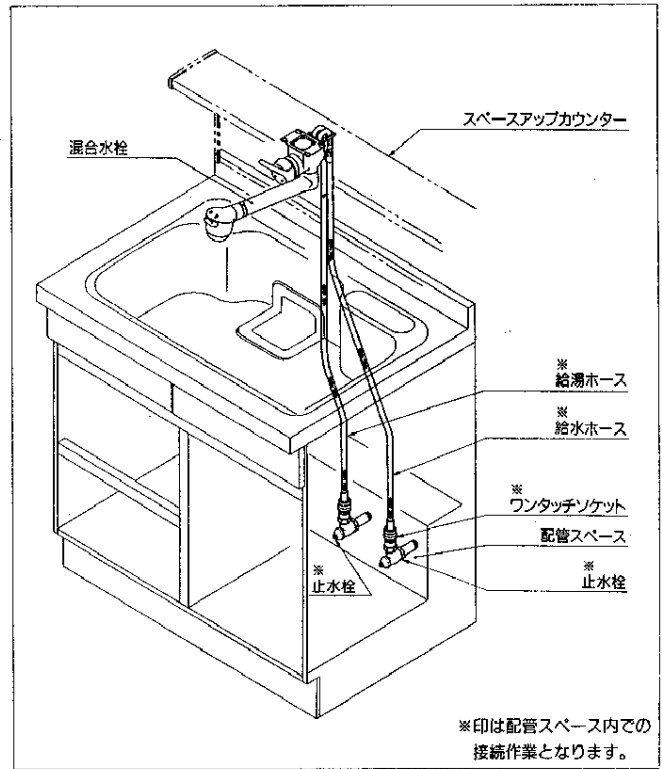
給水ホースをカチッと音がするまで確実に差し込んでください。スリーブが移動してグリーンのスロッパーが見えます。

**取外し方**

- ① グリーンのスロッパーを左右から押し込み
- ② スリーブを下げて
- ③ 給水ホースを引き抜いてください。

## 完成図

TK30U1B型



## 使用条件

### 1. 使用水圧

(1) 瞬間型給湯機と組合せる場合

給水圧力 最低必要水圧…(表参照)  
最高圧力…0.75MPa

(設定条件)

- レバーハンドルは全開
- 水温の高い(25℃)夏期に着火させることを想定
- 吐水温度: 38℃
- 能力手動切替タイプの出湯温度は最高温度に設定
- 給湯配管長さ: 5m
- 給湯機が着火する下限の圧力とする
- 比例制御タイプの出湯温度: 60℃
- 吐水はソフト吐水
- ※能力手動切替タイプで水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さく切替えることで着火しやすくなります。

器具入口部における最低必要水圧 (MPa)

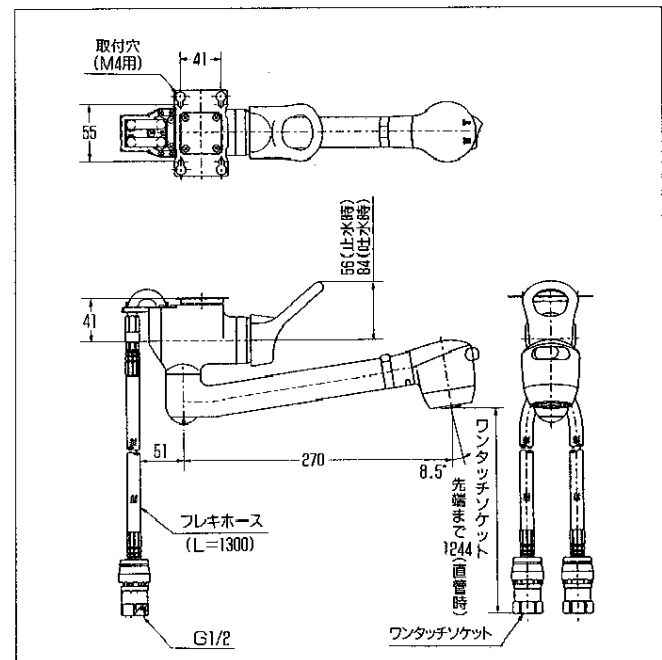
給湯機タイプと号数		最低必要水圧
能力手動切替タイプ	12号	A+0.4
比例制御タイプ	TOTO カスタム制御方式	0.09
	16号	
	TOTO トリコン制御方式(トリコン・コンタクト・アクティ)	0.06
	16号	
	20号	
	アクティ	0.04
スーパーアクティ		
32号	0.05	
TOTO ハイトリコン制御方式	21号	0.04
	24号	
TOTO コマンド	16号	0.06
	24号	
TOTO ハイコマンド	21号	0.04
	24号	

注) 表中のAは給湯機の最低作動水圧を示します。(比例制御タイプにはこの数値が含まれています)  
 ②貯湯式温水器と組合せる場合  
 給水・給湯圧力  
 最低必要圧力 0.05MPa  
 最高圧力 0.75MPa  
 ③給水・給湯圧力はできるだけ同圧になるようにしてください。

2. 給湯に蒸気を使用しないでください。
3. 湯・水を逆配管しないでください。  
給水ホースには①ラベルを、給湯ホースには②ラベルを張付けています。なお給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
4. 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、必ず別途止水栓をご用意ください。

## 寸法図

TK30U1B型



# 器具の取付け

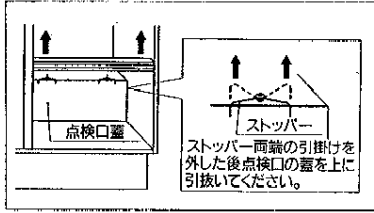
## [I] スペースアップカウンターを新しく取付ける場合

### 1. 給水管内の清掃

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

### 2. 点検口の取外し

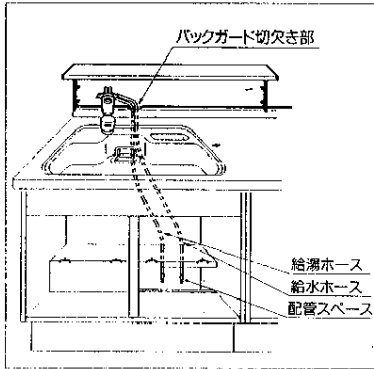
シンクキャビネットの扉側の奥にある点検口蓋を取外してください。



### 3. 給水・給湯ホースの挿入

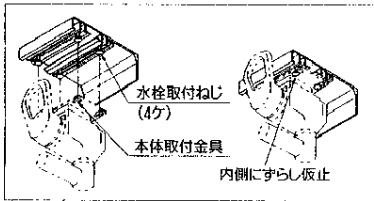
バックガード切欠部へ給水・給湯ホースを1本ずつゆっくりと挿入してください。その時、ホース先端部に傷が付かない様に注意してください。

※ホース挿入後、配管スペースにホースが右図の様に突出することを必ず確認してください。



### 4. 水栓金具の取付

(1) スペースアップカウンター裏側の溝に取付けられた取付ねじ(4ヶ所)を混合栓の取付金具の取付穴に合わせ仮止めしてください。(残りの4ヶ所のねじは支障がない場所に固定してください。)



### 6. 前面パネル及びパネルホルダー取付け

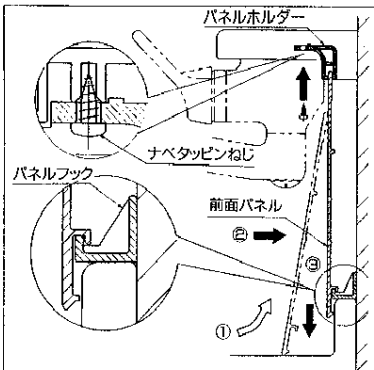
#### (1) パネルホルダーの取付け

切断したパネルホルダーを右図の様にスペースアップカウンターに同梱されているナベタッピンねじで取付けてください。

注) ナベタッピンねじの締付けには電動ドライバーは使用しないでください。ねじ込みができない場合があります。

#### (2) 前面パネルの取付け

前面パネルをパネルホルダーの溝に合わせ①②③の要領で取付けてください。この時パネルフックに掛かっているかパネルを手前に動かし確認してください。



注) スペースアップカウンター、前面パネルの施工についてはスペースアップカウンターの施工説明書を参照ください。

## [II] 混合栓を増設する場合

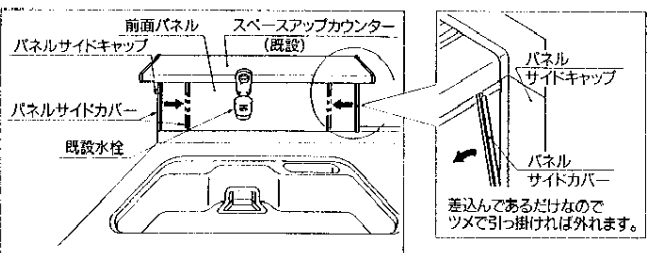
※既に混合栓が1台施工してある現場で新たに水栓を増設する時、次の手順に従って増設してください。

※増設(混合栓)する場合は、あらかじめ給水・給湯工事が必要となります。

### 前面パネルの取外し

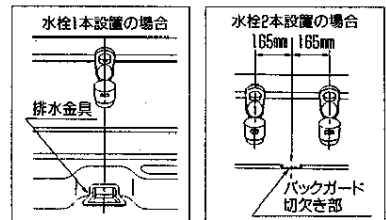
#### イ. パネルサイドカバーの取外し

左右のパネルサイドカバーを取外してください。



(2) 水栓金具を右図の位置にバックガード切欠きを目安にして移動させ取付ねじを確実に締付け固定してください。

※水栓金具1台の場合と2台の場合は取付位置の目安となる箇所が違いますのでご注意ください。



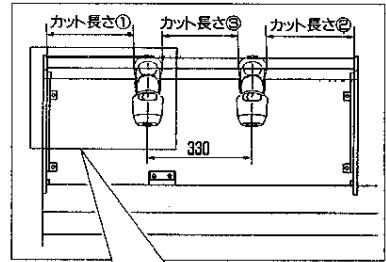
### 5. スペースアップカウンターパネルの取付け

#### (1) パネルホルダーの切断

●水栓金具を確実に固定した後、右図のホルダーカット長さを測りスペースアップカウンターに同梱されているパネルホルダーを切断してください。

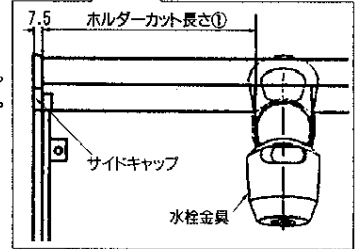
※切断長さは測った長さより1mm程度長くなるように切断してください。

※切断した部分はバリが残りますのでヤスリ等で除去してください。



#### (2) 切断要領

●水栓金具1台の場合  
カット長さ①、②で切断してください。  
※余ったホルダーは破棄してください。



#### ●水栓金具2台の場合

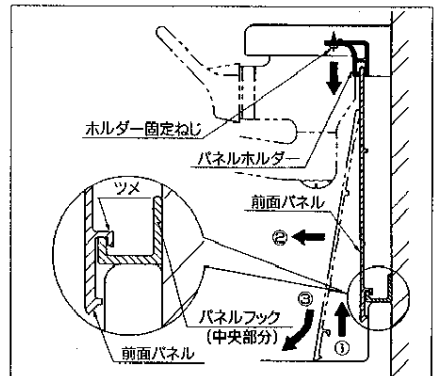
カット長さ①、②、③で切断してください。  
※ホルダー切断にはのこぎり等で切断してください。



### ロ. 前面パネルの取外し

前面パネルを右図の①②③の順序で取外してください。

※パネルは上側に強く上げると外れやすくなります。

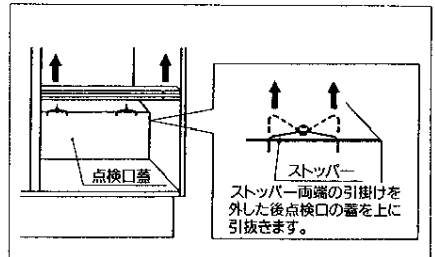


### ハ. パネルホルダー取外し

固定ねじをはずし取外してください。取外した固定ねじは小さくないでください。

### 二. 点検口蓋の取外し

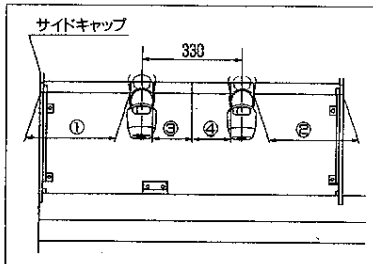
シンクキャビネットの扉側の奥にある点検口蓋を外してください。



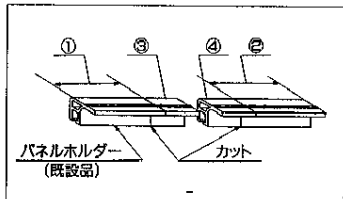
### ホ. 混合栓の取付け

混合栓は1項～4項を参照ください。施工説明書を参照ください。

へ、パネルホルダーの切断  
水栓金具を取付けた後、切断長さ①～④までの長さを測ってください。  
次に測った長さより1mm程度長くなるように既設パネルホルダーを切断してください。切断したパネルホルダーは①～④まで使用します。

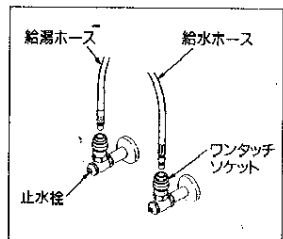


ト、パネルホルダーの取付け  
切断したパネルホルダーは取外しと逆の要領で取付けてください。



チ、前面パネルの取付け  
前面も同様に取外しと逆の要領で取付けてください。

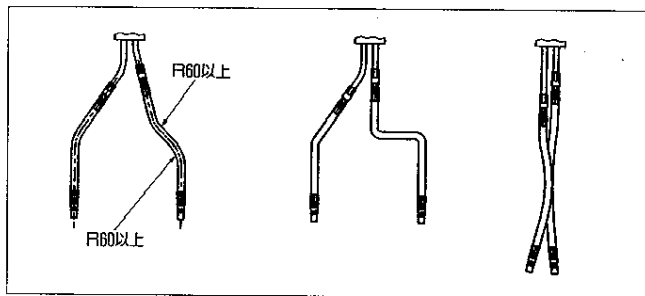
フ、ワンタッチソケット (一般用：逆止弁付、寒冷地用：逆止弁なし) を止水栓に本固定し、給水・給湯ホースをカチッと音がするまで確実に差し込んでください。  
注) この時、ホースを必要以上の方で曲げて、折らないよう注意してください。  
万一折れた場合は、指でつまんで元どおりにしてください。



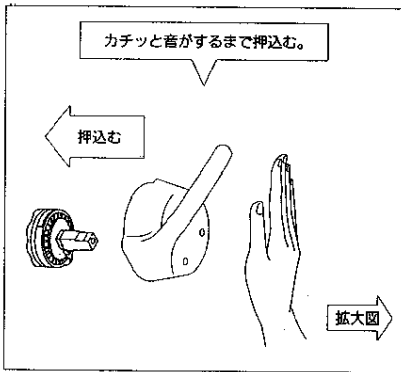
#### 給水・給湯ホースの施工上の注意点

- ホースの折れに、ご注意ください。  
ホースを最小曲げ半径 (60mm) よりも小さく曲げて使用しますと、ホースが折れることがあります。折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。  
施工時には、最小曲げ半径 (60mm) よりも小さく曲げないように、ご注意ください。
- 金具本体端面から極端に屈曲して、施工しないでください。

③ホース同士の不要な接触は避けてください。  
外部補強層の磨耗による外傷でホース性能の劣化の可能性がありますので避けてください。

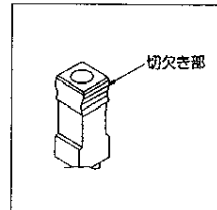


### レバーハンドルの取付要領



このレバーハンドルは、ワンタッチで取付けることができます。

#### ご注意



レバーハンドルとレバーの切欠きとの方向性に注意してください。  
正面からみてレバーの切欠きは、両サイドにあります。  
万一方向をまちがえて取付けた時は、レバーハンドルを一度引抜いて方向を合わせて再度押込んでください。  
最後に、レバーハンドルが容易に抜けないことを点検してください。

## 使用上の注意

この商品は、ウォーターハンマー低減機構を採用しております。  
レバーハンドルを速く操作しようとすると、抵抗感が発生し重く感じる場合がありますが故障ではありません。  
レバーハンドルがロックして、水が止まらなくなった場合は、一度全開にして、再度ゆっくり開めてください。

## 寒冷地用の水抜き方法

寒冷地用の場合は、器具内の水を抜くため、水抜コックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜栓の操作とあわせて次の要領で水抜きをしておいてください。また、お客様にも水抜き方法をご説明ください。

(水抜き手順)

- レバーハンドルを中央位置 (湯側・水側の中間) で上げてください。
- 水抜コックを開いてください。
- 水抜き後は、必ず水抜きコックを強く締めてください。

## お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご説明ください。

- ふだんは柔らかい布でふき、ときどきミシン油やカーワックスなどをしみこませた布でふいてください。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失うので付着しないよう十分注意してください。
- 汚れがひどいときには、適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布でふきとった後、水洗いしてください。
- クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないでください。
- 酸性洗剤はめっきを傷めますので使用しないでください。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合には、すぐにタイル及び器具を十分水洗いしてください。

## 分解と点検

取付後、万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行ってください。

故障とその点検箇所	
現象	点検項目
吐水量が少ない。	1, 2
水が止まらない。	3, 4, 5, 6
吐水温度不良。	1, 2
ハンドルがガタつく。	7
吐水口がガタつく。	8

\*品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

**ご注意**

バルブ部カートリッジ内部は精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、絶対に分解しないでください。

**点検時の注意**

カートリッジ押えは、手締めにて締め付け、工具は使用しないでください。

再セットされる際に、ストッパーを組込む時は、カートリッジ側凸部とストッパー側凹部を合わせて押込んでください。

その際カートリッジ押えの内側の歯とストッパーの外側の歯が合わない時は、カートリッジ押えを締め込む方向にて歯を合わせるように調整してください。

